


事業実施主体名	公益財団法人宮城厚生協会（泉病院）		
構想区域（二次医療圏）	仙台医療圏	所在地	仙台市泉区

調書作成年月日	令和5年1月17日
調書作成者	阿部一彦

宮城県地域医療構想との関係

1 自院が所在する構想区域における病床機能報告結果と2025年の必要病床数

〈仙台医療圏〉

病床機能	病床機能報告 ＜令和3年度＞	本事業の方向性	必要病床数 ＜2025年＞
高度急性期	1,951		1,798
急性期	7,353		4,999
回復期	1,516		3,899
慢性期	2,043		2,505
計	12,863		13,201

2 自院の現状（自院患者の動向分析、区域において担う自院の役割等）

泉病院は1982年開院し、仙台市北部地域での「脳卒中診療」と宮城県北部での「脳神経診療」の実績を40年に渡って積み上げてきました。入院に関しまして、50%が他院からの紹介であり、入院疾病統計は循環器系41.6%（小分類 脳卒中）、神経系20.6%、呼吸器系11.5%となっております。また、高齢化の影響で認知症に加え、脳卒中急性期、リハビリ、神経難病での地域ニーズも多くなっております。特に、神経難病の入院治療に関しましては、仙台市北部や宮城県北部では受入医療機関が少なく、遠方から当院への紹介も多くなっています。当院は急性期55床、回復期39床で届け出ており、現在の稼働状況は急性期が7割ほど、回復期がほぼ満床となっております。脳神経内科医が複数在籍していることもあり、仙台医療センター・東北大学病院等の高度急性期病院からの早期の転院依頼も多くなっており、回復期のニーズが増えて来ている状況ですが、ベッド稼働も満床で推移しており、待機期間もあり、スムーズな受入れに支障をきたしております。

3 事業の必要性

回復期リハ病床は、現状、早期退院を促さざるを得ない状況です。実際、当院の脳卒中リハの平均在院日数は57.5日となっており、これは回復期リハ協会の令和3年度調査における平均値67.3日より短くなっています。この在院日数の短縮傾向は、本来必要なリハビリ期間を確保することを妨げてしまっています。さらに、現状のとおり在院日数を短くしてもなお、他院からの転院依頼に対して、待機をお願いする事態も生じています。この現状に対し、回復期リハ病床を増やすことによって、空床状況に余裕が生まれ、急性期病院からの転院に際する待機日数を短縮できるうえ、必要なリハビリを提供するのに十分な在院日数を確保できるようになると見込んでいます。また、地域包括ケア病床の新設によって、長期入院やリハビリの提供が必要な神経難病患者等の受入れや、地域の在宅患者の受入れを拡大できます。なお、急性期病床に関しては現状の受入状況に鑑みて削減しますが、これまで急性期病床で受け入れてきた患者の一部については、転換後の地域包括ケア病床による受入れで対応可能と考えております。以上により、当事業を活用し、急性期病床23床を回復期リハ病床11床、地域包括ケア病床12床に転換することで、現状を改善できると考えています。

4 事業実施により目指す状況（自院患者の動向予測、区域で担う自院の役割の変化、地域医療構想の推進内容等）

（動向予測）
リハビリの地域ニーズは、今後も地域の高齢化傾向を考えると継続していくと判断しています。回復期リハビリテーション病棟は2000年の発足から22年目を迎え、量的整備から質の向上へと変化が求められています。当院としても、さらなる質の向上を図るとともに、退院後を見据えたリハビリテーションの提供を進めます。また、増加するリハビリ需要に対応するため、リハビリ職員を現在の47名から54名に増員いたします。

（地域連携）
回復期リハ病床の増加と地域包括ケア病床の新設によって、地域の中で回復期は2つの役割を担えるようになります。回復期病床への転院依頼は仙台医療センター・東北大学病院・仙台東脳外科病院等から月30件余りの受入依頼があります。お断りは10件余りで、待機期間は4日～33日（平均13日）となっております。転換後は10名余りの受入可能となり待機期間も短縮可能となりますので、地域からの入院需要も高まると予想されます。仙台医療圏では回復期が2,283床不足しており、今回の転換は地域医療構想の推進に資するものと考えております。

5 その他（地域の事情に即し特別に考慮した事項など）

事業概要

1 病床転換計画

○ 整備する回復期病床 ➡ 23 床

〈病院全体の病床機能別の許可病床数〉 R4.12.1現在

R6.5.1時点（予定）

病床転換前（合計病床数 [94] 床）			病床転換後（合計病床数 [94] 床）		
病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数	病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数
高度急性期			高度急性期		
急性期	急性期一般入院料5	55	急性期	急性期一般入院料5	32
回復期	回復期リハビリテーション病棟入院料1	39	回復期	回復期リハビリテーション病棟入院料1 地域包括ケア入院医療管理料2	50 12
慢性期			慢性期		

2 事業内容

〔全体計画〕		事業着手	R5.4	～	事業完了	R6.3	転換した病床 での診療開始	R6.5
○	施設整備	回復期病床への転換	事業費	（うち補助金申請予定額）	事業種別	対象面積	事業期間	
			230,947,200 円	103,500,000 円	新築	481.14 m ²	R5.4 ～ R6.3	

○	施設整備	医学的リハビリテーション施設	事業費	(うち補助金申請予定額)	事業種別	対象面積	事業期間		
			232,531,000 円	50,400,000 円	新築	450.00 m ²	R5.4	～	R6.3
			整備する施設						
			リハビリ室、スタッフ室、S T室						
			届出(予定)リハビリテーション料						
			回復期リハビリテーション病棟入院料1						

○	設備整備	医療機器等の購入	事業費	(うち補助金申請予定額)	事業期間
			14, 239, 942 円	5, 250, 000 円	R5. 4 ~ R6. 3
			購入予定の主な医療機器等		
			練習用階段・昇降式平行棒標準型・昇降式平行棒両直線型等		

※事業期間が年度を跨る場合の 出来高見込み及び補助申請の予定	令和5年度の見込み		令和6年度の見込み	
	出来高 （%）	補助金申請額 （円）	出来高 （%）	補助金申請額 （円）
施設整備〔回復期病床への転換〕				
施設整備〔医学的リハビリテーション施設〕				
設備整備〔医療機器等の購入〕				

令和5年度の単年度事業を予定

3 特記事項（効率的な事業実施のための取組、他の補助金等の活用の有無やその内容など特筆すべき事項）